

## **5年生社会科**

# **「自然災害の防止」 発問及び板書計画（案）**





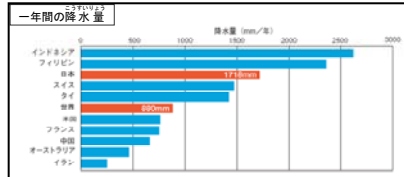
**国土交通省 四国地方整備局 中村河川国道事務所**

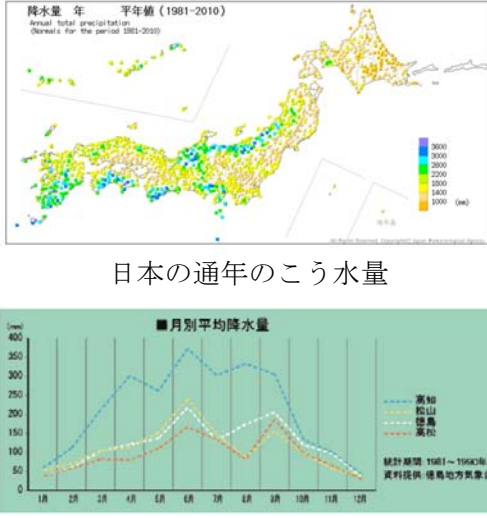
〒787-0015 高知県四万十市右山2033-14

<http://www.skr.mlit.go.jp/nakamura/index.html>

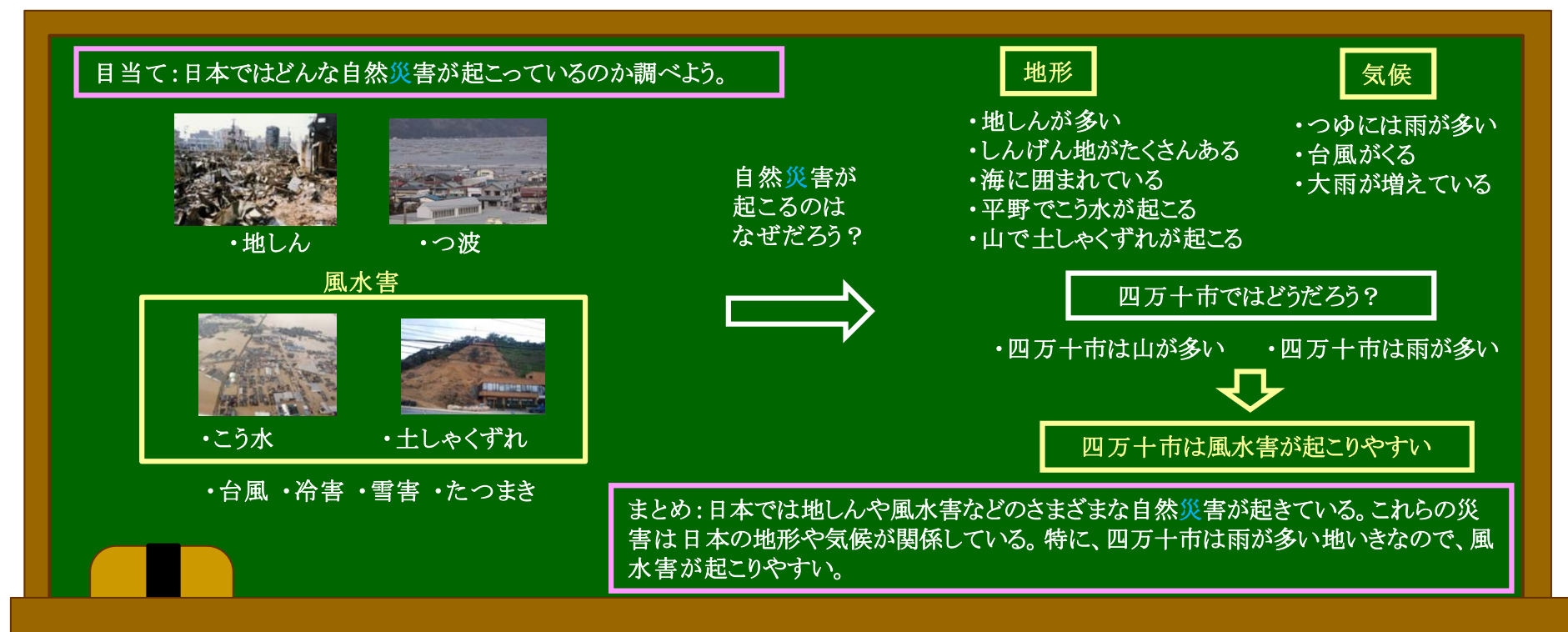
発問及び板書計画(1/4 自然災害の起こりやすい国土)

※水色の文字については、小学5年生にて学習する漢字を示す。

配分時間	教師の発問(子どもの反応)	教材	指導上の留意点
導入 (10分)	<p>T:この写真を見てほしいのですが、これは何か分かりますか?  <u>ICT、写真など：東日本大しん災のつ波の写真</u>                      T:そう、つ波の写真です。いつのつ波でしょうか。                      (C:東日本大しん災)                      T:そうです。これは東日本大しん災の時のつ波の様子の写真です。では、日本には、つ波以外にどのような自然災害があるでしょうか。                      今日はこういった自然災害について学習していきたいと思います。  <u>めあて：日本ではどんな自然災害が起こっているのか調べよう</u></p>	 つ波しゅう来時の写真	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真を活用し、災害のおそろしさを気づかせる。</li> </ul>
展開 (30分)	<p>T:では、つ波以外にどのような自然災害があるか予想してみましょう。教科書 P.41～P.43 も参考にしてください。                      T:予想したことを発表してください。                      (C:地しん、台風、土しゃくずれ、こう水、冷害、雪害、たつまきだと思います)  <u>ICT、写真など：自然災害の写真</u>                      T:そうですね。この中でも土しゃくずれ、こう水は台風や大雨が原因で起こることから風水害と言います。                      このように日本では様々な災害が起こっています。日本では、なぜこのような災害が起こるのでしょうか？                      これからプリントを配ります。教科書 P.41～P.43 とプリントから日本で災害が起こる理由を考えてみましょう。  <u>プリント：“各国における一年間のこう水量”、“日本の通年のこう水量”、“四国における月別平均こう水量”を各自に配る</u>                      T:考えた理由を発表してください。                      (C:つ波が起こるのは、地しんが多いからだと思います)                      (C:地しんによる災害が起こるのは、しんげん地がたくさんあるからだと思います)                      (C:つ波による災害が起こるのは、海に囲まれているからだと思います)                      (C:日本は雨の量が多いので、こう水や土しゃくずれが起こりやすいのだと思います)                      (C:日本は台風がたくさん通るので、こう水や土しゃくずれが起こりやすいのだと思います)                      (C:都市部では大雨が増えてるので、こう水が起こりやすいのだと思います)                      T:では、これらの理由をグループ分けしてみましょう。どのようにグループ分けできるでしょうか。「地形」と「気候」、この2つのグループに分けてみてください。                      T:地しん・つ波や火山のふん火が起こる理由はどちらのグループにあてはまると思いますか？                      (C:地形のグループだと思います)                      T:では、こう水や土しゃくずれはどうでしょうか。                      (C:こう水や土しゃくずれは雨や台風が原因なので気候のグループだと思います)                      T:こう水や土しゃくずれは、どんなところで起こりますか？                      (C:土しゃくずれは山だと思います)                      (C:こう水は平野だと思います)                      T:こう水や土しゃくずれなどの風水害は、地形のグループにもあてはまりそうですね。このように、こう水や土しゃくずれなどの風水害は、地形と気候の条件が重なって起こる災害だと言えます。</p>	 自然災害の写真 (地しん、火山のふん火、こう水、土しゃくずれ)  教科書 P.41  教科書 P.42～P.43  各国における一年間のこう水量	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害の種類ごとにグループ分けして板書していく。</li> </ul>

配分時間	教師の発問(子どもの反応)	教材	指導上の留意点
	<p>T:では、災害が起こる理由で、私たちが住んでいる四万十市にも当てはまることはありませんか。もう一度プリントと教科書 P.41～P.43 を見て考えてみてください。どうですか？</p> <p>(C:四万十市は雨が多い地いきです)</p> <p>(C:四万十市は山が多いので土しゃくずれが起こりやすいと思います)</p> <p>(C:四万十市はこう水の起こりやすい地いきに入っています)</p> <p>T:そうですね。私たちが住んでいる四万十市はこう水などの風水害が起こりやすい地いきだということが言えます。</p>	 <p>日本の通年のこう水量</p> <p>四国における月別平均こう水量</p>	<p>・四万十市にがい当する地形・気候条件を考え、風水害が起こりやすいことに気づかせる。</p>
<p>まとめ (5分)</p>	<p>T:今日の学習で分かったことを、ノートにまとめてください。</p> <p>T:ノートにまとめたことを発表してください。</p> <p>(C:日本ではさまざまな自然災害が起こるということが分かった)</p> <p>(C:自然災害が起こる原因は、地形と気候だということが分かった)</p> <p>(C:四万十市は風水害が起こりやすいのだということが分かった)</p> <p>T:それでは、今日のまとめです。</p> <p>まとめ：日本では地しんや風水害などさまざまな自然災害が起きている。これらの災害は日本の地形や気候が関係している。特に、四万十市は雨が多い地いきなので、風水害が起こりやすい。</p>		

<板書計画>





発問及び板書計画(2/4 自然災害から暮らしを守るために)

配分時間	教師の発問(子どもの反応)	教材	指導上の留意点
導入 (10分)	<p>T:みなさん、前回の授業ではどんなことを学習しましたか?            (C:日本ではさまざまな自然災害が起きていることが分かりました)            (C:日本の自然災害は、地形や気候が原因で起きていることが分かりました)            (C:四万十市はこう水などの風水害が起りやすい地いきだということが分かりました)</p> <p>T:そうですね。四万十市はこう水が起りやすい地いきだということが前回の授業でわかりましたね。この写真をご覧ください。これは平成17年の台風によって、四万十市で起こったこう水の写真です。  <u>ICT:過去に四万十川で起こったこう水の写真</u></p> <p>T:このようなこう水などの風水害が再び起らないように、国では対さくを行なっています。みなさん、どんな対さくを行なっているか知っていますか?            (C:てい防だと思います)            (C:ダムだと思います)</p> <p>T:そうですね。てい防、ダムなどがありますね。  <u>ICT、写真など:てい防、ダム</u></p> <p>T:他にも国が行なっている対さくにはこのようなものがあります。  <u>ICT、写真など:ひ門、はい水機場</u></p> <p>T:このように、風水害を防ぐために、国では様々な対さくを行なっています。このような対さくのことを治水対さくと言います。今日はこのことについて学習していきます。  <u>めあて:自然災害の一つである風水害の防止のためにどのような対さくがおこなわれているのだろう。</u></p>	  <p>四万十川の過去の風水害の写真</p>  <p>国で行われている治水対さくの写真</p>	<p>・てい防、ダム以外にも治水対さくがあることに気づかせる。</p>
展開 (30分)	<p>T:この写真を見てください。  <u>ICT、写真など:不破てい防工事</u></p> <p>T:これは、こう水などの風水害が起らないようにする治水対さくのひとつです。どのような対さくか分かりますか?            (C:川の水があふれないようにする対さくだと思います)</p> <p>T:そうですね。これは、新たにてい防を造ることによって川の水をあふれにくくする対さくです。授業の最初に見せた写真のように、四万十市は平成17年の台風によるこう水で大きなひ害を受けました。このような大きなこう水が再び起らないよう、平成27年3月、四万十市の不破地区に不破てい防が造られました。写真を見てください。(写真を示しながら)これは、不破地区にてい防を造っている時の様子です。では、(写真を示しながら)ここで、てい防工事を行う前に、市民はどうしなければならないでしょうか?            (C:引っ越ししなければならないと思います)</p> <p>T:引っ越しだけですか?            (C:田んぼや畑をほかの場所に移動しなければならないと思います)</p> <p>T:そうですね。市民、田んぼや畑も、ほかの土地へ移動しなければなりません。市民が移動しないとどうなりますか?            (C:また川があふれて、こう水になるかもしれません)</p> <p>T:そうですね。市民は、地いきの安全のために協力してくれたのですね。このように、地いきの安全のためには、地いきの協力が必要なんです。でも、これだけの対さくをしても万全ではないのです。</p> <p>T:では、みなさんはグループになってください。これからグループごとに地図を配ります。  <u>ハザードマップ:各グループに配る</u></p> <p>T:この地図が何の地図か知っていますか?            この地図はハザードマップと言って、こう水が起こった時にどの地いきがしん水するかを表した地図です。四万十市からみなさんの家庭に配られています。色がついている地いきがこう水の時にしん水する場所です。この地図でみなさんの小学校やお家はどこにあるかがしてみましよう。            (例1:家や学校がしん水地いきに入る場合)</p> <p>T:みなさんの小学校やお家はどうでしたか?このように、てい防が決かいますと、川の水があふれてみなさんの小学校やお家がしん水してしまうことになってしまうかもしれません</p>	 <p>てい防工事の全体図</p>  <p>てい防工事を行っている時の写真</p>  <p>ハザードマップ</p>	<p>・てい防の設置、い持についての学習で、風水害防止に公的機関が関わっていることをとらえさせる。</p>

配分時間	教師の発問(子どもの反応)	教材	指導上の留意点
	<p>(例2：家や学校がしん水地いきに入らない場合)</p> <p>T:みなさんの小学校やお家はどうか？みなさんの小学校やお家はしん水しませんが、もし外出している場合は、そこがしん水してしまう可能性が有りますね。</p> <p>T:四万十川のてい防がこわれると川の水があふれて、このように四万十市の多くがしん水してしまうかもしれません。そこで、てい防がこわれないように働いている人達があります。国の機関である国土交通省の中村河川国道事務所の人達です。今から、中村河川国道事務所の人達が、ふだんどのような仕事をしているのかについて学習しましょう。</p> <p><u>ICT、写真など：河川のい持管理、河川パトロール、てい防のい持管理、河川管理し設のい持管理</u></p> <p>定期的に、河川、てい防、ひ門やはい水機場でこわれているところがないか点検が行われています。こわれているところがあれば、修理をおこないます。また、てい防では点検を目的とした草刈りが行われています。</p> <p>T:中村河川国道事務所の人達が風水害を防ぐためにどのような仕事をしているか、仕事の中でどんなことが大変か、分かったことを発表してください。</p> <p>(C:てい防に異常がないかを点検しています)</p> <p>(C:異常が見つかったら修理をしています)</p> <p>(C:歩いて点検することが大変だと思います)</p> <p>(C:広い川の草刈りをすることが大変だと思います)</p> <p>T:そうですね。中村河川国道事務所の人達は私たちが安全に生活できるように、てい防を守っているのですね。</p>	 <p>河川のい持管理、河川パトロール</p> <p>てい防のい持管理</p> <p>河川管理し設（ひ門、はい水機場）の管理</p>	
<p>まとめ (5分)</p>	<p>T:今日の学習で分かったことを、ノートにまとめてください。</p> <p>T:ノートにまとめたことを発表してください。</p> <p>(C:風水害を防ぐために、国や市でさまざまな対さくがおこなわれているということがわかりました)</p> <p>(C:治水対さくを行うためには地いきの協力が必要だということがわかりました)</p> <p>(C:四万十川のてい防がこわれると、四万十市がしん水してしまうことがわかりました)</p> <p>(C:四万十川のてい防がこわれないように、ふだんから働いている人達がいるということがわかりました)</p> <p>T:それでは、今日のまとめです。</p> <p>まとめ：国や市が災害を防止するためにさまざまな対さくを行なっている。</p>		

<板書計画>


目当て：自然災害の一つである風水害の防止のためにどのような対さくがおこなわれているのだろう。

平成17年こう水




赤鉄橋付近

治水対さく




・てい防      ・ダム

しかし、万全ではない



・てい防

ハザードマップ



地いきの協力が必要

てい防が壊れると…

四万十市の多くがしん水してしまう


国土交通省 中村河川国道事務所

・てい防の点検      ・てい防の修理  
・てい防の草刈り

まとめ：国や市が災害を防止するためにさまざまな対さくを行なっている。



百笑地区



不破地区



・ひ門








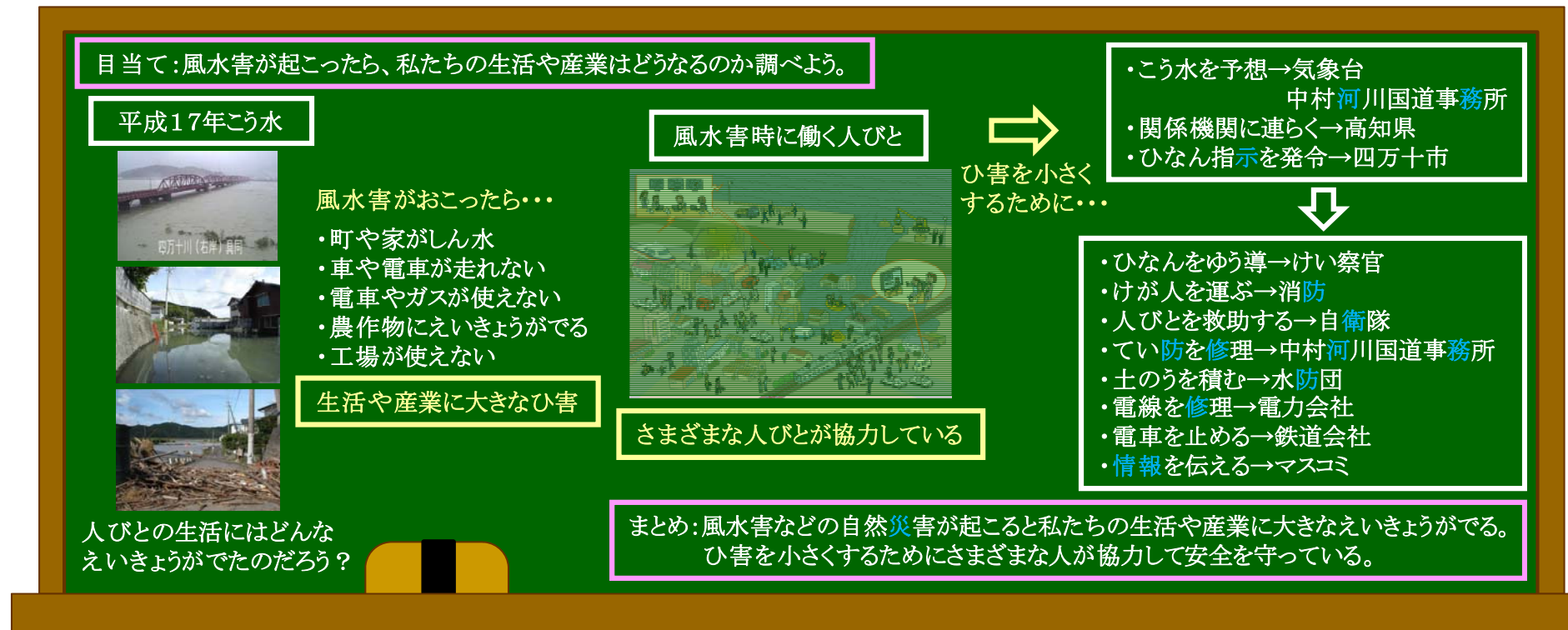
・はい水機場



発問及び板書計画(3/4 もしも自然災害が起こったら)

配分時間	教師の発問(子どもの反応)	教材	指導上の留意点
導入 (10分)	<p>T:みなさん、前回の授業ではどんなことを学習しましたか。            (C:風水害を防ぐために、国や市でさまざまな対さくがおこなわれているということがわかりました)            (C:治水対さくを行うためには地いきの協力が必要だということがわかりました)            (C:四万十川のてい防がこわれると、四万十市がしん水してしまうことがわかりました)            (C:四万十川のてい防がこわれないように、ふだんから働いている人達がいるということがわかりました)</p> <p>T:そうですね。では、この写真をみてください。これは前回の授業でも見た平成17年の台風によって、四万十市で起こったこう水の写真です。  <u>ICT、写真など：過去に四万十市で起こったこう水の写真</u></p> <p>T:このとき、人びとの暮らしにどんなえいきょうがでたでしょうか。            大きなこう水がおこると、人びとの生活にはさまざまなえいきょうが出ます。今日はそのことについて学習していきたいと思います。  <u>めあて：風水害がおこったら、私たちの生活や産業はどうなるのか調べよう。</u></p>	 <p>四万十市における過去の風水害の写真</p>	
展開 (30分)	<p>T:では、みなさん、グループになってください。            こう水などの風水害が起こった時、私たちの生活や産業にはどのようなえいきょうがあるのでしょうか。            この平成17年の台風によって、四万十市で起こったこう水の写真を参考にして、どのようなえいきょうがあるのかをグループで話し合ってください。</p> <p>T:ではみんなで予想したことを発表してください。            (C:町や家がしん水すると思います)            (C:車や電車が走れなくなると思います)            (C:電気やガスが使えなくなると思います)            (C:農作物などにえいきょうが出ると思います)            (C:工場が使えなくなると思います)</p> <p>T:そうですね。風水害がおこると私たちの生活や産業は大きなひ害を受けます。</p> <p>T:それでは、こう水がおこった時、どんな人達が、どんな働きをするのか、グループで話し合ってください。</p> <p>T:みんなで話し合ったことを発表してください。            (C:けい察官がひなんする人をゆうどうしています)            (C:救急隊員がけが人を運んでいます)            (C:てい防を直している人がいます)            (C:電柱を修理している人がいます)            (C:マスコミの人がレポートしています)            (C:自衛隊が人びとの救助をしています)</p> <p>T:そうですね。これから配るプリントに、風水害が起こった時に働く人びとについての説明があります。  <u>プリント：風水害の発生時に働く人びとのイラスト、風水害の発生時に働く人びとの仕事内容 各自に配る</u>            イラストの中で、てい防を直しているのは、水防団や中村河川国道事務所の人達です。水防団の人達は、土のうという土が入ったふくろを積み上げて、てい防をは修していますね。他にも気象台が中村河川国道事務所と協力してこう水予報を行ったり、四万十市がひなん指しを発令したり、高知県が関係機関に連絡したりします。            このように、さまざまな人が協力してひ害を最小限におさえるために働いているのですね。            風水害に限らず、地しんやつ波など、他の自然災害についても同じです。</p>	 <p>風水害の発生時に働く人びとのイラスト</p>  <p>風水害の発生時に働く人びとの仕事内容</p>	<p>・風水害が私たちの生活や産業に大きなえいきょうを与えることを気づかせる。</p>


配分時間	教師の発問(子どもの反応)	教材	指導上の留意点
	<p>T: それでは、実際に風水害が起こった時に働く中村河川国道事務所の人達がどのような仕事をしているのかについて、学習しましょう。</p> <p><b>ICT、写真など：こう水・地しん時の管理、さい害対さく用機械、ぼうさい訓練、ゲートの自動化・高速化、水門・ひ門等のたいしんほ強</b></p> <p>&lt; “こう水・地しん時の管理” の写真について &gt;          こう水や地しんが起こった時は、“雨の量” や “川の水の高さ” などの情報を集め、川の<b>状</b>きょうについて、主に市民や四万十市、高知県の職員で<b>災害</b>対応を行っている人達などに伝えます。</p> <p>&lt; “<b>災害</b>対さく用機械” の写真について &gt;          まちにたまった水を川へ流すため、四万十市や高知県などからのお願いを受け、ポンプ車を出動させます。また、<b>災害</b>対応を行いやすくするために、“照明車” や、<b>現場</b>のひ害状きょうなどを四国地方整備局などに発信する“<b>衛星</b>通信車”を出動させることもあります。</p> <p>&lt; “<b>防災</b>訓練” の写真について &gt;  <b>災害</b>が発生した時、どのような<b>対応</b>をするかを学び、<b>理解</b>し、<b>災害</b>が起こった時、すぐ行動に移せるように<b>防災</b>訓練を行っております。</p> <p>&lt; “ゲートの自動化・高速化” の写真について &gt;          つ波による浸水を防ぐため、地しんが起こると、早く自動でしるゲートの<b>設置</b>を行っております。</p> <p>&lt; “水門・ひ門等のたいしんほ強” の写真について &gt;          地しんによって、水門やひ門などの建物がこわれないう、建物をより強くしております。</p> <p>T: みなさん、どうでしたか。中村河川国道事務所の人達は、私たちのくらしの安心・安全のために働いているのだということがわかりましたね。</p>	 <p>こう水・地しん時の管理</p>  <p>災害対さく用機械</p>  <p>防災訓練</p>  <p>ゲートの自動化・高速化</p>  <p>水門・ひ門等のたいしんほ強</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中村河川国道事務所働く人が、どのような仕事をしているかを伝える。</li> </ul>
<p>まとめ (5分)</p>	<p>T: 今日の学習で分かったことを、ノートにまとめてください。</p> <p>T: ノートにまとめたことを発表してください。          (C: 風水害が起こったら、さまざまな人が協力して働いていることがわかりました)          (C: 風水害が起こったら、私たちの生活や産業に大きなひ害がでることがわかりました)          (C: 中村河川国道事務所の人達が、私たちのくらしの安全のために働いていることがわかりました)</p> <p>T: それでは、今日のまとめです。</p> <p>まとめ：風水害などの自然<b>災害</b>がおこると私たちの生活や産業に大きなえいきょうがでる。ひ害を小さくするためにさまざまな人びとが協力して安全を守っている。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>授業をふり返り、多くの人達の働きで自分たちの安全な生活が<b>保</b>たれていることに気づかせる。</li> </ul>





発問及び板書計画(4/4 自然災害に備えてできることを考えよう)

配分時間	教師の発問(子どもの反応)	教材	指導上の留意点
導入 (10分)	<p>T:みなさん、3時間「自然災害の防止」について学習してきましたが、これまでの授業についてふりかえってみましょう。 これまでの授業のまとめを1つずつ発表してください。 (C:日本では、地しんや風水害などさまざまな自然災害が起きている。これらの災害は、日本の地形や気候が関係している) (C:国や市が災害を防止するためにさまざまな対さくを行なっている) (C:風水害などの自然災害が起こると私たちの生活や産業に大きなえいきょうがでる。ひ害を小さくするため、さまざまな人が協力して安全を守っている)</p> <p>T:そうですね。日本ではさまざまな自然災害が起きている、どうして自然災害が起こるのか、それは地形や気候が関係しているということをも1時間目に学習しましたね。 そして、2時間目は、国や市が災害を防止するために行なっている対さくについて、3時間目は、自然災害による私たちの生活や産業へのえいきょうや、災害時に働いている人びとについて学習しました。では、自然災害で私たち自身に何かできることはないでしょうか？ 今日の授業ではこのようなことを学習したいと思います。 <u>めあて：自然災害に備えて自分たちができることはなんだろう。</u></p> <p>T:今日は、自然災害のひとつであり、地形と気候条件から四万十市で起こりやすい災害である風水害に備えて、みなさんがふだんできることは何かを考えていきましょう。</p>	<p>自然災害</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・地しん</li> <li>・つ波</li> <li>・火山のふん火</li> <li>・こう水</li> <li>・土しゃくずれ</li> </ul>	<p>・かん潔に1~3時間をふり返る。</p>
展開 (30分)	<p>T:では、これからプリントを配ります。 <u>チェック7：各自に配る</u></p> <p>T:これから風水害に備えて、みなさんがふだんから行なっていることをチェックしてみましょう。 T:これから先生が読み上げるので、チェックをしてみてください。</p> <p><u>チェック7：読み上げる</u></p> <p>T:どうでしたか？何個チェックがつかしましたか？ (C:全然チェックがつかせませんでした) (C:●個しかチェックがつかせませんでした)</p> <p>T:みなさんチェックの数が少ないようですね。</p> <p>T:みなさん、グループになってください。 これからこのチェックリストを参考にして、風水害に備えて、私たちがふだんからできることは何なのか、グループで話し合っってノートにまとめてください。</p> <p>T:ではみんなで話し合ったことを発表してください。 (C:ひなん所を調べておくことだと思います) (C:ひなん場所への道を調べておくことだと思います) (C:家族と連らくが取れる連らく先を調べておくことだと思います) (C:ひなん道具を用意しておくことだと思います) (C:家族で話し合うことだと思います)</p> <p>T:そうですね。では、これからみなさんに2時間目に学習したハザードマップを出してください。 <u>ハザードマップ：Cは出す。</u></p> <p>T:このハザードマップを使って、風水害が起こった時に、みなさんがひなんする場所を確にんしてみましょう。みなさんが住んでいる場所から一番近い赤丸の場所が、ひなん場所です。 (C:八東小学校です(八東中学校です))</p> <p>T:そうですね。ひなんする場所は八東小学校(八東中学校)です。 (例1：ひなん場所がしん水地いきに入る場合)</p>	 <p>もしもの風水害に備えて・・・</p> <p><b>チェック7</b> 風水害が起こっても君は大じょう夫？</p> <p>チェック1. もしも風水害が起こったときに備えて、避難場所を調べていますか？</p> <p>チェック2. あなたの家から避難場所への道を覚えていますか？</p> <p>チェック3. もしも風水害が起こった時、家族がバラバラにならないようにみんなが集まる避難場所を決めていますか？</p> <p>チェック4. すぐに家族と連絡がとれる連絡先を知っていますか？</p> <p>チェック5. もしも風水害が起こった時に備えて、すぐに持ち出せる避難道具を用意していますか？</p> <p>チェック6. 避難道具は家のどこにあるか知っていますか？</p> <p>チェック7. 上記の1~6のことを、年に1回ぐらい家族と話していますか？</p> <p>チェック7 風水害が起こっても君は大じょう夫？</p> <p>ハザードマップ</p>	



配分時間	教師の発問(子どもの反応)	教材	指導上の留意点
	<p>T:では、ひなん場所の色は何色になっていますか？ (C:●色です)</p> <p>T:そうですね。みなさんのひなん場所はこう水などの風水害が起こった時、しん水してしまう<b>可能性</b>があります。ですので、みなさんはしん水しない別の場所にひなんしなければなりません。もう一度ハザードマップを見て、みなさんが住んでいる場所から一番近いしん水しないひなん場所をさがしてください。</p> <p>T:みなさんがひなんする場所がわかりましたか？ (C:八東小学校です(八東中学校です))</p> <p>T:そうですね。みなさんはこう水などの風水害が起こった場合は、八東小学校(八東中学校)にひなんしてください。ただし、地しんなど風水害以外の<b>災害</b>の場合は、ひなん場所が違います。<b>災害の種類にあわせて安全な場所へひなんする</b>ようにしましょう。</p> <p>(例2：ひなん場所がしん水地いきに入らない場合)</p> <p>T:では、みなさんの住んでいる場所から八東小学校（八東中学校）にひなんするには、どこを通れば安全でしょうか？しん水する場所を通過してひなんするのはき<b>険</b>ですね。みなさんが住んでいる場所からすばやくひなんできて、なおかつ安全な道を<b>確</b>にんしてみましょう。</p> <p>T:では、みなさんに、ひなん<b>経</b>路を黒板の地図で説明してもらいます。 (C:ここはしん水するので、ここを通過してひなん場所へ行けばいいと思います)</p> <p>T:そうですね。このように、ふだんからハザードマップを使って、ひなん場所やひなん場所への<b>経</b>路をお家の人と<b>確</b>にんしておきましょう。</p> <p>T:では、これからプリントを配ります。このプリントを参考にして、風水害が起こった時に、私たち自身でできることをグループで話し合っってノートにまとめてください。 プリント：“風水害に対する心がけ・きん急時の心がけ”を各自に配る</p> <p>T:ではみんなで話し合ったことを発表してください。 (C:川の水位に注意することだと思います) (C:テレビやラジオで天気や<b>防災情報</b>を<b>確</b>にんすることだと思います) (C:お年<b>寄</b>りや子どもをゆう先し、落ち着いて行動することだと思います) (C:ひなんのよびかけ・ひなん<b>指</b>示に速やかにしたがうことだと思います)</p> <p>T:そうですね。この他にも高いところに早くひなんすることも大事なことです。 では、風水害に<b>備</b>えてふだんからできること、風水害が起こった時にできることで、地しんやつ波などの、風水害以外の自然<b>災</b>害が起こった時と共通することはありますか？ (C:ひなん場所を調べておくことは共通していると思います) (C:ひなん道具を<b>準</b>備しておくことも共通していると思います) (C:家族と連らくが取れる連らく先を調べておくことも共通していると思います) (C:ふだんから家族で話し合うことも共通していると思います) (C:お年<b>寄</b>りや子どもをゆう先し、落ち着いて行動することも共通していると思います) (C:ひなんのよびかけ・ひなん<b>指</b>示に速やかにしたがうことも共通していると思います) 板書：共通しているこう目に赤丸をつけていく</p> <p>T:そうですね。他にもテレビやラジオで<b>防災情報</b>を知ることにも共通していますね。 万が一の風水害に<b>備</b>えて、何をしなければならぬか、風水害が起こった時どのように行動しなければならぬかを知っておくことはとても大切です。これらのことは、風水害に<b>限</b>らず地しんなどの自然<b>災</b>害についても同じです。</p>	 <p>風水害に対する心がけ ・きん急時の心がけ</p>	

配分時間	教師の発問(子どもの反応)	教材	指導上の留意点
まとめ (5分)	<p>T:今日の学習で分かったことを、ノートにまとめてください。</p> <p>T:ノートにまとめたことを発表してください。  (C:風水害の時にひなんする場所がわかりました)  (C:風水害に備えておくことは大切だということがわかりました)  (C:自然災害が起こったときにどのように行動しなければならないかを知っておくことは大切だということがわかりました)</p> <p>T:それでは、今日のまとめです。  <b>まとめ：風水害に限らず、自然災害に備えて、ふだんから自分にできる備えを行うことが大切である。</b></p>		


<板書計画>

目当て：自然災害に備えて自分たちができることはなんだろう。



自然災害

・地しん      ・つ波



・火山のふん火

・こう水      ・土しゃくずれ


風水害に備えてふだんからできること

- ひなんする場所を調べておく。
- ひなん場所への道を調べておく。
- 家族と連らくが取れる連らく先を調べておく。
- ひなん道具を準備しておく。
- ふだんから家族で話し合う。

風水害がおこった時にできること

- 川の水位に注意する。
- テレビやラジオで天気や防災情報を確にんする
- お年寄りや子どもをゆう先し、落ち着いて行動する
- ひなんのよびかけ・ひなん指示に速やかにしたがう

ハザードマップ



風水害以外の自然災害でも自分たちができることは共通している。

まとめ：風水害に限らず自然災害に備えて、ふだんから自分にできる備えを行うことが大切である。